

5 歳児保育指導案

1 日時・場所 平成30年11月8日(木) 8時45分～11時30分
山本幼稚園 園庭・各保育室

2 対象児 5歳児 もみじ組 25名 (男児10名 女児15名)
5歳児 あやめ組 25名 (男児11名 女児14名)
5歳児 さくら組 25名 (男児11名 女児14名)

3 主な活動の内容 「友達と一緒に好きな遊びを楽しもう」

4 幼児の姿

○ 運動会を経験し、友達と力を合わせて最後まで頑張ったことで自信がつき、運動遊びだけでなくいろいろな活動に意欲的になり、自分たちで見通しをもちながら園生活を進めていこうとする姿が見られるようになっている。

○ 宝鬼やドッジボールなどの集団遊びや、一輪車、竹馬、跳び箱など自分なりにめあてをもち取り組んでいる。繰り返し取り組みできるようになったことで、達成感や満足感を味わい、友達と一緒に遊ぶ楽しさも感じながら遊びを進めている姿が見られる。

秋の自然物を使った遊びでは、木の実や落ち葉、小枝などの自然物を使って遊んでいる。友達のアイデアに刺激を受け、それらを使って作ったり、作ったもので遊んだりする姿が見られている。

○ いろいろな集団遊びを楽しむ中で友達や年少児とのかかわりも広がっている。しかし、自分の思いが強すぎて相手の思いを受け入れられずいたり、気が付かないでいたりして、トラブルが生じることもある。

5 指導にあたって

○ 子供たちにできることを任せながら、自分たちの力で遊びを進めていけるように遊具や用具、材料など環境構成をしていくようにする。

○ 幼児が自分なりにめあてをもち取り組む、頑張っている姿や工夫している姿、協力している姿を認めることで自信につなげより意欲的に取り組めるように認めたり励ましたりしていくようにする。

○ 友達と一緒に遊びを進めていく中で、友達の思いを受け止めたり、自分の気持を表現したりして遊びを進めていけるようにする。

6 ねらい・内容

○ 友達と積極的にイメージを出し合いながら遊びを進めていく楽しさを味わう。

・自分なりに遊びのめあてをもち、力を発揮して遊ぶ。

・身近な秋の自然の中で、試したり工夫したりして友達と一緒に遊ぶ。